

LINK-J 特別会員開催イベント「Japan-China Bio-Innovation Ecosystem Forum 2025」へ登壇

～Venture Capital による日本のバイオテック企業への投資による成長戦略を発信～

EP バイオパートナーズ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：黒沼 宏輔、以下「EP バイオパートナーズ」）は、2025年5月22日（木）に開催されたLINK-Jの特別会員開催イベント「Japan-China Bio-Innovation Ecosystem Forum2025」（主催：Chime Biologics、Duoning、Lisure）へ登壇いたしました。

本フォーラムでは、日本におけるバイオ創薬エコシステムの構築と推進に向けた支援策について、日本ならびに中国の関係企業の代表が登壇し、将来像について活発な議論が交わされました。



※Chime Biologics 提供：Japan-China Bio-Innovation Ecosystem Forum2025

■パネルディスカッション内容

セカンドパネルディスカッション「Venture Capital Investment in Japan」では、SIIF インパクトキャピタル共同創設者の三浦 麗理氏のモデレーターのもと、パネリストとして Panacea Venture 創始者 James HUANG 氏、VMS グループ Andrew Ng 氏、Simcere 副社長 Briant Zhang 氏、株式会社 PhotoQ3 代表取締役社長 浜窪 隆雄氏に加え、当社代表取締役黒沼 宏輔が登壇し、ベンチャーキャピタルによるバイオテックへの投資課題等について、議論が交わされました。



※Chime Biologics 提供：「Venture Capital Investment in Japan」

右から 2 番目：当社代表取締役 黒沼 宏輔

このセッションでは、当社黒沼より、日本のバイオベンチャーが直面する資金・開発リソースの不足に対して、日本や中国の VC との連携や中国の CDMO 等との連携が有効な手段であると述べるとともに、有望な中国市場を視野に入れて、今後は日中間での具体的なパートナーシップ構築が重要になる、との見解を示しました。

■今後の展望

EP バイオパートナーズは、日本のバイオベンチャーが持つ有望なシーズを、日本のみならず成長著しい中国の製薬企業と結びつけ、事業化の加速を推進、強化してまいります。また、その際に課題となる資金面での支援を日本のみならず、中国・香港等の VC と連携してまいります。

当社は日本と中国のバイオテック企業の成長の支援を通じて、日本・中国・アジアのバイオイノベーションの実現を推進する企業としてのプレゼンスを一層高めてまいります。

■公式サイト

▶Japan-China Bio-Innovation Ecosystem Forum2025 のイベントの様子：

[Japan-China Bio-Innovation Ecosystem Forum 2025](#) | [特別会員開催イベント](#) | [LINK-J](#)

▶EP バイオパートナーズ株式会社：

[トップ - EP バイオパートナーズ株式会社](#)

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

EP バイオパートナーズ株式会社：

[お問い合わせ - EP バイオパートナーズ株式会社](#)